

# セトル伊都 食堂だより

いただきます、をシェアしよう。

## Vol. 10

2021年夏号

お久しぶりです。2年越しの発行となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。この2年間、たくさんのニュースがありました。こちらで報告させていただきます。

## どうすれば安心・安全に食を提供できるのか、葛藤の日々…

緊急事態宣言が発出された2020年。

同年3月頃より、セトルの食堂でも感染症対策に追われる日々が続きました。

普段より衛生管理には自信ありのスタッフでも、感染症は難しく、「もしもクラスターが出てしまったら…」という不安がぬぐえませんでした。

どうか安心・安全の食を保ちたいとの思いより、セトルでは医師と管理栄養士、現場スタッフと共に幾度も話し合いを重ね、感染症対策を期間にわけて対応することを決定致しました。

感染症対策により学生の皆様には不便な部分もあったと思います。食事停止という案もありましたが、この状況の中私たちが学生の皆様に何ができるかを考えた結果、食事は生活して行く上で欠かせないものなので徹底した管理の元、営業させて頂きました。どうか学生の皆様に安心・安全な食事を楽しんでいただけますように、、、今後も徹底的な対策を実施して参ります。

### 通常/蔓延防止の期間

- ✓レストラン内パーテーションの設置
- ✓入口に消毒液の設置
- ✓レストラン入店の際の検温
- ✓使い捨て容器の活用
- ✓手袋の着用
- ✓スタッフの体調管理の確認/徹底
- ✓黙食の推奨

### 緊急事態宣言の期間

- ✓食事選択可
- ✓お弁当対応による自室での食事

## コロナ禍の生き方

大学入学を控えた春、新型コロナウイルスの影響で全ての生活が激変した。高校の卒業旅行はもちろん、新学期のオリエンテーション、授業、部活までも——大学生活ってなんだろう？慣れないオンライン授業でふと思った教授の一方通行な授業。質問ができない。課題が進まない。本当であれば、今頃は新しい学校に通い、新しい友達、環境で勉強と部活を両立して大学生活を謳歌していたはず…このままじゃなにも楽しくない。元々アクティブで行動力あり好奇心旺盛な性格、じっとしていられなかった。

SNSを通じて、入部予定の部活やサークルのアカウントにアクセスし、先輩と仲良くなり、同級生とのオンラインミーティングを企画、強固な絆を育んだ。本来の学生生活だと、ここまで仲良くなれてなかったかもしれないこの環境が変わるのを待つのではなく、自身で新しい環境を作り適応していく。コロナも捉え方次第だ。この状況の中、新しいライフスタイルを確立させようとしている彼の瞳はとも輝いていた。



佐久間くん (工学部)  
セトルレストランで好きな料理  
ポークステーキ、ピカタ、生姜焼き

### セトルインターナショナル

糸島市の国際化と九州大学を活かした「街づくりプロジェクト」として誕生した学生マンション（2020年竣工）

セトルインターナショナルは2017年5月に締結された「地域の国際化に関する協定」に基づき、九州大学、糸島市、セトル、西日本シティ銀行、西日本シティフィナンシャルホールディングス、福岡銀行との連携によるキャンパス周辺地域の国際化と地域振興のプロジェクトとして誕生しました。